

【法蔵館文庫】

藤原頼通の時代

摂関政治から院政へ

日本史

坂本賞三 著 下向井龍彦 解説
 文庫判・並製カバ―・336頁・定価1650円



藤原頼通の時代は、後期王朝国家体制への大転換期であった。院政時代への歴史を書き換えた名著の文庫化。

2026年9月刊行

【目次】

はじめに

一 頼通摂政となる

1 頼通が受けたもの（一）摂関政治／2 頼通が受けたもの（二）摂関家／3 内大臣十二日で摂政になった頼通

二 頼通をめぐる女性と諸子

1 「男は妻は一人のみやは持たる」／2 異姓養子源師房と頼通の諸子

三 父道長の死

1 右大臣藤原実資にたよる関白頼通／2 採決困難な事件の出現

四 後期王朝国家体制への転換

1 王朝国家／2 前期王朝国家の支配が行きづまる／3 後期王朝国家の支配／4 長久荘園整理令の発令／5 百王思想

五 頼通関白を辞す

1 頼通、関白と「諮詢」を辞す／2 頼通の時代に摂関家の権勢が衰退していたか

六 後三条天皇の時代

1 従来の後三条天皇時代像／2 後三条天皇時代像の再検討／3 後三条天皇の新政／4 関白の一人諮問がなくなる／5 後三条天皇の譲位／6 後三条天皇が過大評価された理由

七 後三条・頼通・彰子・教通あいついで世を去る
 八 その後

1 摂関家内部の関白継承争い／2 寺社強訴の頻発
 付論 王朝貴族の国政観と末代観
 解説 坂本賞三先生と王朝国家体制論（下向井龍彦）

◆略歴

坂本賞三（さかもとしょうぞう）

一九二六年中国瀋陽生まれ。広島大学文学部卒業、同大学院修士および博士課程修了。滋賀大学助教授、広島大学教授、神戸学院大学教授を歴任。広島大学名誉教授。二〇二一年没。

著書『日本王朝国家体制論』（東京大学出版会）、『摂関政治』『日本の歴史』6、小学館、『荘園制成立と王朝国家』（塙書房）。編著『王朝国家国政史の研究』（吉川弘文館）。

下向井龍彦（しもむかい たつひこ）

一九五二年生まれ。広島大学大学院文学研究科博士課程国史学専攻単位修得退学。専攻、日本古代史（奈良・平安時代史）。現在、広島大学名誉教授。

単著に『日本の歴史』7 武士の成長と院政（講談社学術文庫、講談社、二〇〇九年）、『物語の舞台を歩く 純友追討記』（山川出版社、二〇一一年）、『日本史リブレット』17 平将門と藤原純友―天慶の乱、草創期武士の悲痛な叫び（山川出版社、二〇二二年）等多数。

注文書	
(書店印)	様冊
ご注文	法蔵館
坂本賞三著 下向井龍彦解説 藤原頼通の時代 【法蔵館文庫】 摂関政治から院政へ ISBN: 978-4-8318-2736-4 C1121	定価 1650円
お名前	お住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
 TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp